

### 普及活動検討会実施報告書

(石巻) 農業改良普及センター

実施月日：平成31年2月7日

実施場所：石巻合同庁舎401階議室

(単位：人)

#### 1 検討内容

No	検討項目
	(2)平成31年度普及指導計画(案)について 2)プロジェクト課題の計画(案)について No1 被災沿岸部の大規模経営体における経営の安定化 No2 先進的園芸経営体の育成 No3 先進技術を活用したいちご産地のステップアップ No4 拡大する復旧農地を担う大規模農業法人の経営力強化

#### 2 検討委員の構成

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	3	生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	2	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	1

#### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント、評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
2)プロジェクト課題の計画(案)について  No1	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマトでは、技術指導いただき病害等も少なくなってきたっており、今後とも支援をお願いしたい。人材育成に関しては他の法人との繋がりもでき、今後とも開催をお願いしたい。</li> <li>◎会社での研修ができないので、研修会を開いていただき大変助かります。特に雇用就農者の人材育成支援での他社との交流が出来て良かった。</li> <li>◎経営者向け、従業員向けそれぞれのセミナーや各ワークショップ、若手人材育成のシミュレーションゲームなど、とても良いと思います。</li> <li>◎法人は通年の所得確保が課題となっているため、新規園芸品目導入の支援が効果的と思われる。研修会で「社会人の心得」とありましたが、社会に不適合な人もいるのでしょうか。</li> <li>◎農業法人の多くは、個別経営から組織経営に移行のうへえ経営しており、経営安定を図るためには、収益を上げることとともに、組織のスキルアップも重要なことであり、継続的な支援が必要。</li> <li>◎計画策定法人数が1社なのは寂しいが着実な推進を期待したい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A法人の直播の収量が低く、直播への取組も含め技術指導をお願いしたい。</li> <li>◎経営コンサルによる経営の改善指導により、社員全体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人経営者や従業員等のニーズを踏まえ、法人経営の発展段階に応じた研修会やセミナー等を企画し、人材育成を支援します。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地力が低く栽培条件が厳しいほ場ではありますが、水稻の栽培方式の検討も含め、収量向上に向けた技術支援を行います。</li> </ul>

	<p>の情報交換がなされた点は素晴らしいと思います。また、A法人に対しては、今後、技術指導、長期に渡っての支援必要と思われます。乾田直播に関しては省力の法人にとってはとても有効なので、これからも力を入れて欲しいと思います。</p> <p>◎経営管理能力向上支援の定性的目標として、経営の安定化が図られることを挙げられているが、メロンの試験栽培は直結しないと慮される。</p>	
No2	<p>3.9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人経営での共通の課題として、世代交代、人材育成等の悩みを抱えており、今後は人材育成の計画が重要になってきている。</li> </ul> <p>◎GAPを取得するための支援は大変ありがたい。園芸経営体では、環境制御技術は是非とも必要なものであり定期的な巡回指導は、今後も長く続けて欲しい。</p> <p>◎各経営体が、農業生産工程管理（GAP）についての理解と必要性について認識していただき認証されるよう更なる啓発をお願いしたい。</p> <p>◎GAPを取り入れようとする法人が、これからも増えてくるかは少々不安もあるように思えます。社員の流動が多い法人が見受けられる気もするので、長く勤めてもらう企業努力を続けながら会社全体のGAP実践を行ってほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人経営者は決算書の内容を読みとれているか疑問を感じる。3期分をみると様々なことが読みとれるが、巡回等を通じて読ませる機会を設けて欲しい。中小企業にも同じ傾向は言える。</li> </ul> <p>◎普及センターには対象経営者に決算書を経営に役立てる指導をして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B法人は赤字ということを聞いたが、赤字補填のため収穫期と収穫期の間、施設を増設し収入を得るという話を聞いた。現在の栽培で対応できないものか。</li> </ul> <p>◎B法人について、規模拡大すれば経営が安定するとの意向であるため、現状での黒字化に向け、さらに指導をお願いします。</p> <p>◎”振り返り”で技術面、経営面の課題解決、改善の支援をしていることは良いことだと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人経営の安定化に向けた技術支援のほか、経営の継続や継承といった視点にも留意し経営支援に取り組みます。</li> <li>・農産物の生産販売に係るGAPへの取り組みだけでなく、社員従業員等の生産に係る意識向上や会社全体のモチベーション向上のツールとして、GAPの取得や取り組みに向けた活動支援を行います。</li> <li>・定期的な収支状況の把握や前年対比による経営比較等により経営指導に取り組みます。</li> </ul>

		<p>◎プロジェクト課題が経営体育成であり、それを受け2活動内容も広範囲で絞りづらい。定性的目標も「整備」「検討」であり、内容は悪くないもののゴールをイメージしにくい。</p>	<p>・これからのプロジェクト課題作成時には、誰がみても分かりやすい計画づくりに心掛けます。</p>
No3	4.0	<p>・震災後、いちご栽培に取り組み6年目。技術指導により病害虫は定期的に散布するようになり抑えられ、昨年より収量や金額は増加している。 今年から「にこにこベリー」に変わるため、また、他の生産者の方とも交流を図り技術指導をお願いしたい。</p> <p>・IPMや産地としての取り組み、環境制御への支援の取り組みなどPRしていきたい。</p> <p>◎新たなIPM技術導入、農薬の適正使用の支援で病害虫は少なく抑えられている、収量が安定している、というのはいいと思います。</p> <p>◎対象組織が多くて指導が大変かと思います。IPM技術、天敵資材、微生物資材と、新技術普及のためよろしくお願いします。石巻地域の高品質で美味しいいちごが沢山収穫できるように。</p> <p>◎勘に頼るのではなく、これからはAIなどを活用した管理が必要になるのではないかと思います。高度な環境制御技術についてさらに指導をお願いします。</p> <p>◎いちご生産農家に統一した気持ちと技術が大切なので、講習会の参加はこれからも全体で取り組んで欲しいと思います。担い手不足も不安材料として残るので、今後の検討課題だと思います。</p> <p>◎活動報告では、生産者交流が他の地域と比較すると活発な意見がなかなか出ないということであった。お互いが、本音で意見し合えるような工夫をし次年度取り組んでいただきたい。</p> <p>◎先端技術導入には投資も必要。投資回収性、経営寄与度を意識して指導して欲しい。</p> <p>◎定性的目標を「自ら〇〇できる」と設定し、達成状況も芳しい。今後について、PDCAサイクルを回せることを挙げていることについて評価する。</p>	<p>・産地としての拡大やレベル向上のため、引き続きIPMや環境制御技術等の普及啓発に取り組みます。</p> <p>・関係機関と連携のもと地域を越えた部会活動や研修会等により、生産者交流に取り組みます。</p> <p>・導入によりコスト低減や経営におけるメリット等の新技術導入に係る留意点を正しく情報発信します。</p>

No4	<p>4.1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ C法人から営農や復旧に向けた相談を受け、関係機関できめ細かい対応していく方向となった。リスタの経営が成り立つよう今後とも地力回復や品目選定等の支援を願う。</li> <li>◎長面地区については、地域にあった作物の導入について指導をお願いします。また、耕作地が広いためほ場管理システムの導入は効果的と思われます。</li> <li>◎安定した収量と低コスト化の確立が、経営基盤安定化に欠かせないことから、数値目標達成のための効果的支援が欠かせない。</li> <li>◎ C法人の規模が年々拡大して喜ばしいことと思います。収量が向上するよう、地力向上のため有機物、堆肥、鶏糞等の使用も有効なのかと思います。</li> <li>◎ C法人は若手の社員が多いみたいなので、継続した支援指導が必要だと思えます。収量は年々上がっているようなので働く意欲も増すと思えます。</li> <li>◎稲作の基本技術の習得が進み、次年度には担当ほ場を任せることとなったことは良いと思えます。水管理手当等をつけるとモチベーションも上がると思えます。津波被害にあった沿岸部で使用する農業機械の寿命も内陸とは違うと思うので、しっかりした対策をとると思えます。</li> <li>◎達成すべき目標（480kg/10a）が客観的かつ明確で非常に良い。</li> <li>◎プロジェクト課題が経営力の強化であり、2活動内容は具体的である。今後の活動予定も、具体的に設定してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地復旧に伴い経営面積が拡大されるため、土地の利用方法や品目選定など法人経営が成り立つよう目標達成に向けた支援を関係機関と連携していきます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、品質、収量向上に向けた御指導をお願いしたい。</li> <li>◎生産者がやっている取り組み、努力、農産物ができあがるまでの過程を消費者に伝える、知ってもらう、情報発信をして、生産者や食、農に興味を持ってもらうことも大切だと思うので、魅力的な情報の発信も、と思えます（消費者との交流も含め）。</li> <li>◎YouTubeで東松島の乾田直播が出ています（乾田直播in東松島）。普及所でも乾田直播の耕起、均平作業、鎮圧、播種作業、除草剤散布作業等の一工程の動画を作ってほしいと思えます。画像よりもイメージがわい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、安全安心な農産物の栽培支援や農家所得の向上に向けた普及活動に努めて参ります。</li> <li>・ 生産者の取り組み事例や食や農業に関する情報発信については、発信する情報の内容や方法、あり方など含めて、今後、検討していきます。</li> <li>・ さらなる安定的な収量確保と品質向上に向けた栽培支援に取り組みます。</li> </ul>

	<p>てわかりやすいと思います。</p> <p>◎直播栽培は管内でも年々面積が広がっているし、収量も上がっているので労働力の高齢化の時代を迎え、今後も重要だと思う。技術向上を指導していくのはこれからも大事かと思います。検討会の中で食味も良いと言っているが、地域での食味はバラツキがあるようです。さらに研究が大事かと思います。</p> <p>◎河南地区の1,300haのほ場整備が完成すれば、増々直播が増えると思われるので、安定した収量確保の指導をお願いします。</p> <p>◎石巻管内では、年々直播栽培面積が増加しており、特徴的なのは乾田の比率が、県内では非常に高いことは理解できた。慣行栽培と乾田直播、湛水直播での収量比較データが欲しかった</p> <p>◎北村の3法人について、転作主体の法人から脱皮し、水稲も加えた経営にしてほしい。</p>	<p>・転作主体の法人などの農業法人の育成支援については、法人の意向や将来目標等を踏まえたなかで支援に取り組んでいきます。</p>
--	--	---

※上記「評価結果」欄の◎印は、提出があった「普及活動検討会評価表」（別記様式第1号）の「評価（評価できる点や改善すべき点）」欄に記載された内容を転記したものの。